



# ふるさと笠松の「ちょっといい話」No.77



## 「ファミリーマラソンで、すてきな行いを発見！」



1月26日(日)に笠松競馬場で、ファミリーマラソンが行われ、約600人の参加者がありました。左の写真は表彰式の様子です。走り終えた爽快感が伝わってきます。普段は競走馬しか走れないコースを思いきり走ることで、スカッとした気持ちになれたことなのでしょうね。すてきな行いを発見したのは、この

大会が終了してからです。右の写真をみてください。観客席を清掃しているスポーツ少年団や岐阜工業高校



の硬式野球部の生徒さんが写っていますね。この生徒さんたちは、係の人に頼まれて清掃しているのではありません。自主的に「感謝の心」を持って、掃除をしているのです。大会のお世話をしてもらっても、「そんなの当たり前」と思う子が多いと思います。大会を開いてくださった方々へのお礼の気持ちを持って、自分たちのできることは何かないだろうかと考え、行動する姿はとてすばらしいと思います。

## 寒さの中で「第3回 笠松町あいさつ運動」が行われました。



1月23日(木)と24日(金)に、本年度3回目となる笠松町あいさつ運動が実施されました。朝の7時30分頃から開始されたので、肌を刺す寒風は一層厳しく感じられたことでしょう。

毎回のよう思うことですが、参加している子どもたちは、とても大きな声であいさつができています。しかし、返ってくるあいさつは、とても小さい声です。せめて、聞かせる程度の大きな声があいさつに来ることを期待したいです。



幼、保、小、中、高校生の皆さんからボランティア体験を募集します。ぜひ、お寄せください。また、町内で「ちょっといい話」を小耳にはさまれましたら、笠松中央公民館担当まで電話、FAX、手紙、意見箱などの方法で、ご連絡いただくと幸いです。記事にさせていただくことがあります。なお、この「ちょっといい話」は笠松町のホームページの「道德のまち」のバナーをクリックすることによって、第1号から最新号まで閲覧できます。ご活用ください。Tel 388-3926 FAX388-3233